

泌尿紀要  
Acta Urol. Jpn.

Vol. 31, No. 6 ACTA UROLOGICA JAPONICA June 1985

# 泌尿器科紀要

第31巻 第6号 1985年6月

市立静岡病院における尿路結石症の臨床的検討	
—結石成分分析および尿中カルシウム尿酸排泄量について—	金丸 洋史・ほか… 915
経皮的超音波破碎による腎結石の治療経験	川村 寿一・ほか… 921
分腎機能検査としての <sup>99m</sup> Tc-DMSA	
レノシンチグラフィの有用性について	岡村 菊夫・ほか… 931
脊椎損傷者神経因性膀胱に対する膀胱内圧・尿道外括約筋筋電図同	
時検査と膀胱内圧・尿流量率・尿道外括約筋筋電図同時検査の検討	青木 光・ほか… 937
膀胱腫瘍に対する総合画像診断	
—血管造影, 超音波, CT を中心として—	内田 豊昭・ほか… 949
前立腺癌における血清 $\gamma$ -Seminoprotein の意義	石川 眞也・ほか… 961
最近の恥骨上式前立腺被膜下切除術に関する臨床統計的観察	村中 幸二・ほか… 969
血液吸着を併用した制癌剤動注化学療法に関する基礎的研究	
—各種制癌剤による体内動態の比較検討について—	中野 康治… 979
神戸大学医学部泌尿器科学教室における手術統計	
(1976年1月~1980年12月)	石神 襄次・ほか… 993
内分泌非活性副腎皮質腺腫の2例	若林 賢彦・ほか…1001
後腹膜神経鞘腫の1例	庄田 良中・ほか…1005
胎児型腎横紋筋肉腫の1例	仙賀 裕・ほか…1013
乏血管性所見を呈して, 術前診断が困難であった腎細胞癌の1例	中島 均・ほか…1021
出産後に発見された腎血管筋脂肪腫の自然破裂症例	篠田 育男・ほか…1027
改良型 Balloon 付き Basket catheter による尿管結石除去の1例	
—経皮的腎結石摘出術を併用した1例について—	由井 康雄・ほか…1037
膀胱憩室を思わせた水腎症をともなった左骨盤腎の1例	玉井 秀亀・鈴木 恵三…1041
止血困難であった Cyclophosphamide	
による出血性膀胱炎の1例	大原 正雄・ほか…1045
膀胱子宮瘻の1例	小林 峰生・ほか…1049
前立腺貯留性嚢腫の1例	木下 修隆・ほか…1053
巨大精索脂肪肉腫の1例	石田 章・ほか…1059
陰茎結核の1例	谷川 克己・ほか…1065
Fournier's gangrene の1例	
—両側睾丸摘除術, 陰茎切断術を施行し救命した症例—	沖 守・ほか…1071
複雑性尿路感染症に対する Cefmenoxime (CMX) の使用経験	南 祐三・ほか…1077
Cefoperazone の泌尿器系臓器移行に関する検討	深津 英捷・ほか…1085

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,  
Kyoto University, Kyoto Japan 606  
京都大学医学部泌尿器科学教室

## 購読要項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料6,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

## 投稿規定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
  - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文7頁(400字×28枚程度)図(Fig)10枚、表(Table)5枚までとする。
  - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
    - (i) 原稿の表紙に標題、所属機関名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名(山田：または山田・ほか：)と、2語(例：前立腺がん・PSA)からなる running title を付す
    - (ii) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、5語(英文)以内の Keywords、抄録本文の順にダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
  - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、Key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、所属機関名、著者名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
  - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg,  $\mu$ g, %, °C, pH などとする。
  - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。図・表は誤りのないことを確認のうえ、トレースして紙焼したものが望ましい。様式については本誌の図・表を参照する。
- (6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用個所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。  
(例：山田<sup>1,3,7)</sup>, 田中ら<sup>1,9,10)</sup>によると)  
雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名  
巻：最初頁～最終頁、発行年  
単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
- (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
- (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。

## 3. 掲載

- (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
- (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
- (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。

## 4. 別刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

編集委員：石神 襄次      前川 正信      宮崎 重      新谷 浩  
園田 孝夫      友吉 唯夫      吉田 修(主幹)

---

泌尿器科紀要 第31巻 第6号      1985年6月25日 印刷      1985年6月30日 発行  
発行 吉田 修      顧問 加藤 篤 二      発行所 泌尿器科紀要刊行会  
〒606 京都市左京区聖護院川原町54      京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)  
印刷所 山代印刷株式会社      京都市上京区寺之内通小川西入

---